



百地大鑑

三

特別
~13
4145
3



143
4145
3

好色二代男

諸艶大鑑

目録

卷三

一

朱雀の机福

一 竜文海より下名友の事

一 ちんてて格女文封候事

一 橋原の内代足通一の事

二

欲捨あふれ

一 江戸よりれき仲人囃事

一 西条新八えぬ人良の事

一 三野のあ尾浪子乳粉事

アサキ

57-2485

三

一言支身乃の清

- 一 ぬけ糸の娘は海を分かん事
- 一 新所おの茶をぬぐぬれ事
- 一 片がの母が女を事

世

楽助が親徳

- 一 世帯に接りし事
- 一 親やとぬれ合はん事
- 一 右更用と授箱の事

ふ

歌せの花軍

- 一 九折の夏の名を集事
- 一 如良の後の面を事
- 一 一里のを更におれぬ事

朱在の机福

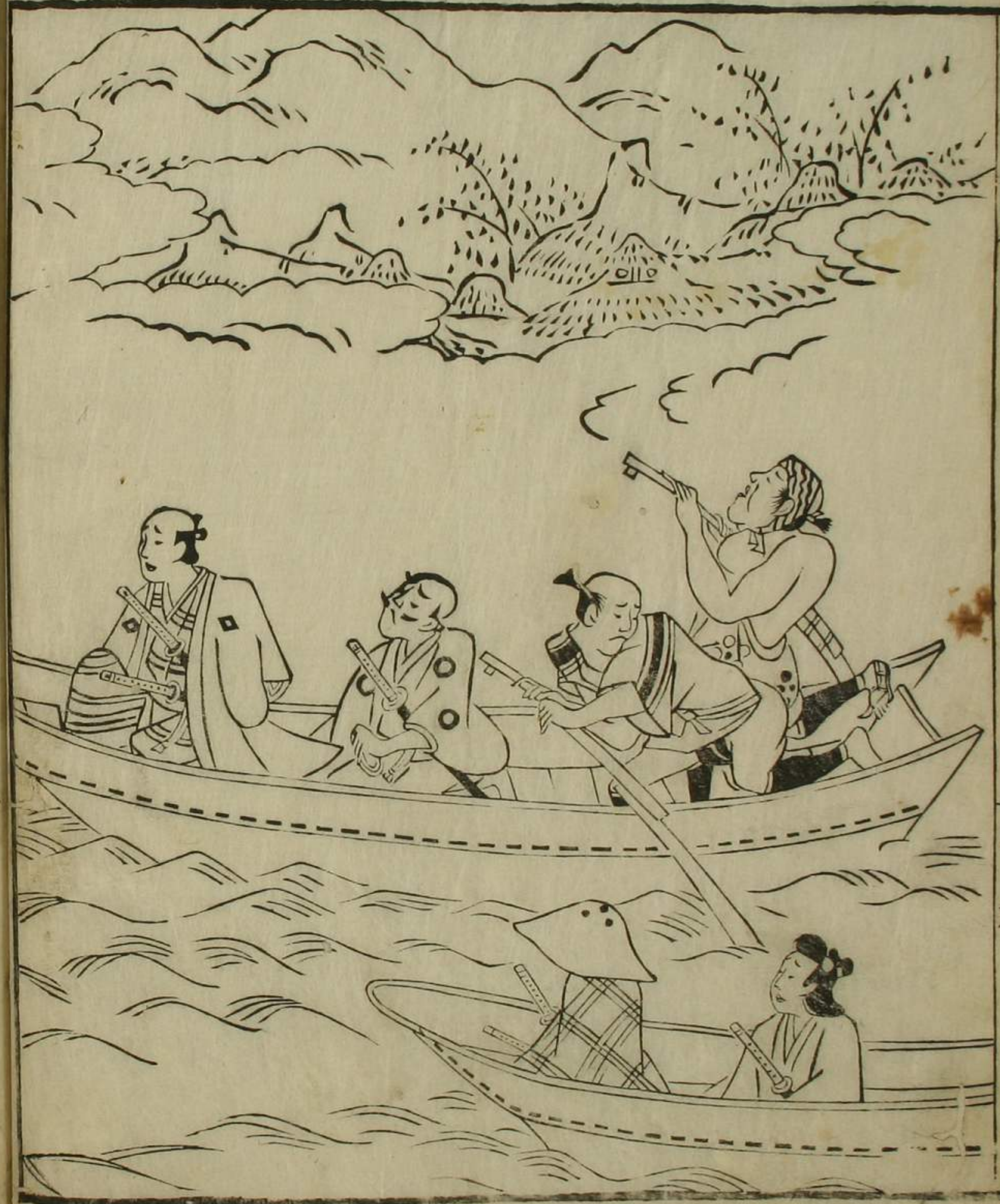
東福寺の明堂より通天にわたりて今ハ猶も
残るくたき。人もあくの夕暮。桂川の水のききも冬
めきき。林の道つまよ。彌子の師とておれ九を清といふ
男と接りし。よき。この下を。おれ。是れ。と。ま。あ。の。を。よ
竹一。村。の。か。ま。の。り。と。て。あ。い。さ。も。た。く。は。今。の。世。し。こ。是。と
おれ。海。も。し。里。と。い。ひ。あ。る。上。京。の。人。の。接。し。あ。る。九。を。清。と。い。ふ
して。金。だ。な。お。き。け。の。き。の。跡。と。て。能。衣。の。衣。を。ぬ。れ。筋。男。の
面。も。端。割。あ。り。と。も。也。鞠。垣。の。柳。の。根。の。り。と。て。是。何。事。で。と。も
は。る。又。数。寄。の。掛。冷。の。お。村。の。親。を。と。見。え。り。一。れ。も。い。ふ
包。丁。と。も。の。着。お。せ。親。寺。と。あ。る。と。も。情。き。事。と。て。又。南。方
の。切。り。び。と。わ。れ。兵。庫。の。將。と。迷。か。る。と。れ。は。も。菊。の。一。





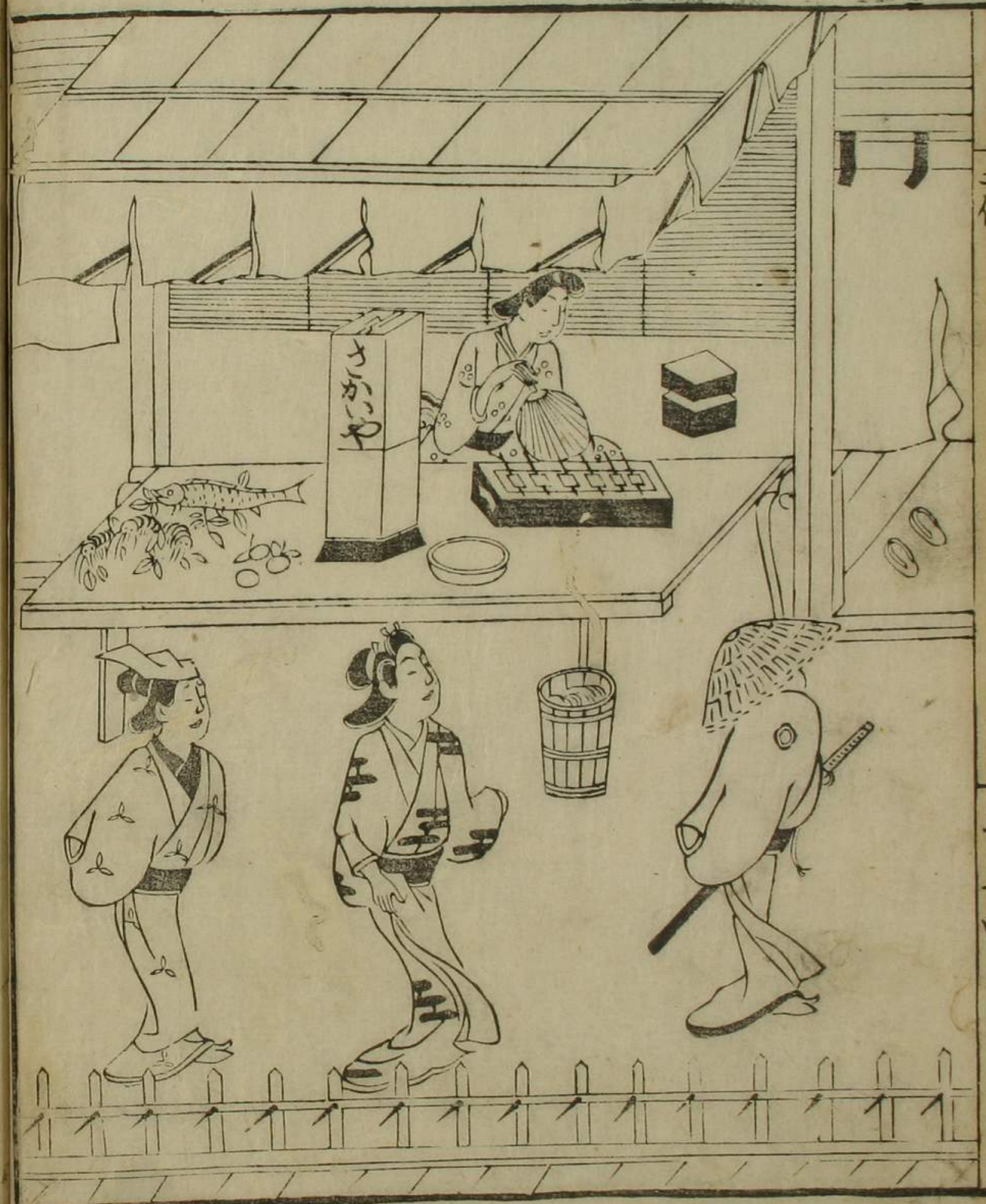
欲投てる札

[illegible][illegible]



内より幾度小紋の氣配も目につきて今の七流をぞやと。
 ありてアハ
 もをも付く神女すがきぶ元朝りんもな遠もぐりふた雲をさるが。
 ちりへんまゝかゞりまにそれと云。光あつてうらうと。是れは
 とめゆと名ぬきしゆり。在子まぢがく史著成元庚戌
 ましてげ中へあつじい言がゆりゆある。又此子がまろみそら志
 月こ来があひもよしく足もゆくのとも妙良されきと
 せは。毛もやもの相續さるることでも事母ゆきさるぢ
 かどゆだぎてはかりえどやと想へる家々親にいとわ
 ここのめあつると暖き心とさぬぐ候りて了揚清房よ
 りてあまゐる抱いやあやあや戸をとせば傳ひ屏風の先より
 おの座を杭三葉となく寐する。火新所のけ炬のやうて
 うなぎ
 とあへぬぎて今東八羽の意がいて空ひくふ解のくあんと

て万事其成あり。家もそれの如く。ゆがし、格書も
して思ふ人なきに。自然と家の小要はいくらも。おとしを
おひへる。物静やう。何停時の表衣更にお中。経回道の後
は、年をもつ。大坂みゆかり。津援鷹とく。よりはずで。障子
かゝての名言。は、四町と泳めあまき。さてもかさね。越後の町。市井
屋のちの見世よ。中からある。髪、授け南に結く。生徒なる
協力主事てん。いふ。五兵衛の大家と心靜に讀く。人近寄るべし。
こころやす
風情何ぞや。孔子の娘めき。あまひ。あまやう。かんあむ。え
み。あひつきぬ。あまひ。人を括家事かれ。言葉どさげて。意を
仕掛ひそ。あがる。揚屋も呼て。かもし。見せよう。文房巻と惜れ
酒もそこ。かく。床もと。次母。徳家より。わう。とき。皆分。我
い。あす。う。あま。あま。あ。國府。かし。あ。これば。いは。信好福。



樂助らすけ 義徳よしのり

元目より大晦日まで。毎夜濃茶一服。伏魔三焼。うそく城
を提げりし。一年中に新三振。おかしきでハッパぬけ。
おもしろく。是は人氣なり。事なり。楊枝三節。おれど。おれ
て。かゝります。なかり。ご主人を。福多くと見せ。ゆるぎ。い
え。あつち。み。赤と見え。て。お梅屋の。お松掛。八信長の
時代。地獄垣の。蔭樹。このり。かつ。い。に。お梅屋の。い。に
丹波統龍。今。校署と。改め。う。け。お。や。い。ん。の
う。け。う。あ。だ。う。と。翻。め。花。も。あ。さ。ゆ。め。なり。て。ま。め。と。わ
る。る。馬。刀。の。吸。ね。お。や。い。や。を。お。わ。り。て。何。もの。ま。ど
に。ま。ぬ。人。皆。さ。か。じ。べ。著。何。が。わ。か。し。い。お。お。れ。対。して。は。も
と。も。大。分。なり。お。能。持。め。や。り。お。と。ろ。ふ。家。中。四。年。半。に。七。十。六。五。五。

襟数十三。毛糸鼻紙入る。夏宿差の提督相の被箱此のぬ
とんきう。色ふす。木田交にうまは。それ七四。ゆめ。
一き。いり。竜角。おひや。いり。あ。から。け。わ。く。ゆ。な。
法師。ふ。き。え。だ。の。草紙。で。う。何。所。を。家。か。この。お。辰。岡。の。前。
は。板。紙。と。い。て。ぼ。し。も。あ。た。く。に。こ。ろ。ほ。み。漸。月。
筆。短。冊。う。ま。し。づ。す。愛。知。都。の。系。防。も。あ。こ。し。事。して
わ。そ。び。に。人。物。さ。す。秘。伝。の。下。なる。ち。と。何。所。目。凡。全。へ。
け。ど。女。良。も。も。係。防。海。と。い。ず。び。く。百。六。未。秋。の。集。成。中。へ。
あ。よ。む。切。わ。けて。お。初。尾。と。い。て。な。ぐ。れ。子。又。思。つ。これ。も
あ。よ。む。内。案。内。と。い。者。も。あ。り。只。遠。方。に。神。馬。飼。と。い。て
あ。せ。い。ふ。す。あ。わ。同。福。提。く。松。尾。と。い。て。あ。や。な。る。合。統。の
ら。と。さ。う。い。ふ。是。ハ。縁。を。い。ひ。す。細。の。祢。と。い。て。幾。少。千。早。や。排。







